

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	富士市立看護専門学校
設置者名	富士市長 小長井義正

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程 (3年過程)	看護学科	夜・通信	30単位	9単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.fujicitynursing.jp

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	富士市立看護専門学校
設置者名	富士市長 小長井義正

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校評価委員会
役割	・富士市立看護専門学校の教育活動の改善及び向上を図るために設置された。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
団体職員	2020. 4. 1 ～ 2021. 3. 31	看護教育経験者
看護師	2020. 4. 1 ～ 2021. 3. 31	当校同窓会長
医師	2020. 4. 1 ～ 2021. 3. 31	当校学生保護者代表
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	富士市立看護専門学校
設置者名	富士市長 小長井義正

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>毎年授業要項と実習要項を作成し配布している。また、授業要項については公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.fujicitynursing.jp
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業要項の評価方法に、終講筆記試・レポート・演習・技術テスト・ルーブリック評価表・ポートフォリオ・事例展開等で評価することを明示。出席は2/3以上のこと</p> <p>実習要項に出席は4/5以上、各実習の評価表に基づいて評価している。</p> <p>卒業論文はないが看護の統合Iで3年次に研究の方法と実際として臨地実習での受け持ち事例をまとめ発表している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>科目の評定は以下の区分としている</p> <p>80 点以上・・・・・・・・優</p> <p>70 点以上 80 点未満・・・・良</p> <p>60 点以上 70 点未満・・・・可</p> <p>60 点未満・・・・・・・・不可</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.fujicitynursing.jp</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生像を公表している ・ 所定の単位を（98単位）すべて修得した者 ・ 欠席日数が出席すべき日数の3分の1を越える者については卒業を認めない。ただし、校長がやむを得ない理由があると認めたときは、この限りではない。 ・ 卒業と進級に関する認定は教員会議で審議し、運営委員会で承認される。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.fujicitynursing.jp</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	富士市立看護専門学校
設置者名	富士市長 小長井義正

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		看護専門課程 (3年過程)	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,000/98 単位時間/単位	19 65 単位 時間 75 /単位	単位 時間 /単位	10 35 単位 時間 23 /単位	単位 時間 /単位	単位 時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		119人	0人	14人	91人	105人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）98単位3000時間：講義（演習を含む）1965時間75単位、臨時実習1035時間23単位。1年次1065時間36単位、2年次1110時間39単位、3年次825時間23単位で運営
成績評価の基準・方法
（概要）科目の評定は以下の区分としている 80点以上・・・・・・・・優 70点以上80点未満・・・・良 60点以上70点未満・・・・可 60点未満・・・・・・・・不可
卒業・進級の認定基準
（概要） <卒業> ・所定の単位を（98単位）すべて修得した者 ・欠席日数が出席すべき日数の3分の1を越える者については卒業を認めない。 ただし、校長がやむを得ない理由があると認めたときは、この限りではない。

<p><進級></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位の認定は授業科目の時間数を満たし、試験等に合格した者に所定の単位を認定する。 ・詳細は成績評定に関する規程・規程細則に定める。 ・卒業と単位認定に関しては教員会議を経て、運営委員会で承認される。
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事と教科外活動で 137 時間(3 年間) ・クラス運営、国家試験対策、実習オリエンテーション、実習まとめ、技術テスト等で 154 時間 (3 年間) ・カウンセリング 1 回/月

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	1人 (2.6%)	36人 (94.8%)	1人 (2.6%)
(主な就職、業界等) 富士市立中央病院・富士宮市立病院・蒲原総合病院			
(就職指導内容) 1 年次から富士地域の病院の説明会実施。面接等の指導ほか			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 看護師国家試験受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
121人	2人	1.7%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生と教諭との間でコミュニケーションを図る		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	0 円	102,000 円	0 円	(令和2年度入学生まで適用)
	円	156,000 円	円	(令和3年度入学生から適用)
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 令和2年度中にホームページにて公表する		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 原則として年1回開催する、なお、委員長が必要と認めるときは、臨時に開催する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
静岡県看護協会	1年	看護教育経験者
富士市立中央病院	1年	当校同窓会長
民間病院勤務	1年	在校生保護者代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 令和2年度中にホームページ (https://www.fujicitynursing.jp) にて、公表する		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.fujicitynursing.jp
--